

平成24年9月30日

各位

株式会社 徳 ・ 株式会社 傳六
ノリックス株式会社 ・ 有限会社 和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。朝晩がめっきり涼しくなり秋の気配を感じるようになりました。今月も多くのお客様よりお喜びの言葉とお褒めの言葉をいただいております。お客様一人ひとりの「喜び」の追求に尽力いただいたスタッフの皆様に感謝申し上げます。詳しいお客様の声は社内新聞をご覧ください。「本当に美味しかったよ」「食事で癒されました」「温かいサービスに感動しました」というお客様の声を聞くたびに社長であることの喜びと共に、皆様と一緒に仕事を通じて「徳」を積んでいるのだなと感じます。

私たちの仕事は飲食業である前に「お客様喜ばせ業」であるとよく申しています。そのために大切なことは提供する商品（サービスを含む）をよりお客様の立場で作ることが出来るかどうかです。お客様の求める商品と提供する商品が価格を含めてジャストフィットしたときに初めてお客様は喜んで頂きます。京セラの名誉会長である稲盛和夫氏が「善きことを考え、善きことをすれば、善きこととして返ってくる」とよく言われています。これは絶対の真理であると私も思います。私たちの仕事は単に料理を作り配達しているのではなくお客様に喜びや幸せを提供しているということ、お皿を洗う方や車を整備する人、掃除をする人、電話を取る人もその喜びの提供の一部を確実に担っているということをご理解ください。そしてお客様を喜ばせていること、すなわち「善いこと」をしていることに対する誇りを会社全体で持ちあわせる文化を作りましょう。人は一夜にして劇的に変わる瞬間があると言われる。そのきっかけは自分が人生の特別なリングにあがると決めることから始まります。リングにあがるということは相手に打たれに行くことで、先の見えないリスクがあります。時には痛く、辛く、惨めな思いもします。ではなぜボクサーや格闘家はリングにあがるのか。それは自身が勝たなければならないということと観客に感動を与えなければならないという使命感があるからです。私もこの会社をさらに成長させること。もっとたくさんお店を作ること。もっと多くの人たちに私どもの料理を提供し喜んで頂く。という使命感を持っています。私は人生で成功する、しないはすべて人それぞれの心のあり方と考えます。世の中の目に見える物は有限ですが見えない人間の心の中にある物は無限です。それぞれの人々の心にある小さな種を倍々で増やしていきましょう。すべてはお客様に喜んで頂くために。この会社の善なる仲間とともに。

「一膳入魂」

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」
すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々